

2021年度実施(2022年度入試)調査票

<基本情報①(自治体情報)>

都道府県市名 政令都市名	大阪府		
高校入試 担当部署名	教育庁教育振興室高等学校課学事グループ		
TEL	06-6944-6887	FAX	06-6944-6888
URL	https://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/tyugakusei/index.html		

<基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)>

調査担当者名	村上 白子 (所属: NPO法人おおさかこども多文化センター) 榎井 縁 (所属: 大阪大学)
--------	---

この色のセルは、昨年度と表記方法を変えた設問です。

この色のセルは、今年度新しい設問です。

<全国一覧掲載情報>

	I 全日制高校について						II 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1.措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×
2. 国籍要件の有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし		なし	
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択)		①定員内		①定員内		①定員内						

I 全日制高校について

2021年度実施(2022年度入試)調査票

	A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2021年度中について、 当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
2-1.2022年度の一般入試において、 当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場 合は「2-1の備考」に明記	○	○	○
2-1の名称	令和4年度大阪府公立高等学校入学者 選抜における配慮事項	令和4年度大阪府公立高等学校入学者 選抜における配慮事項	令和4年度大阪府公立高等学校入学者 選抜における配慮事項

2021年度実施(2022年度入試)調査票

2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限	帰国又は入国後、原則として小学校第1学年以上の学年に編入学した者	帰国又は入国後、原則として小学校第1学年以上の学年に編入学した者	帰国又は入国後、原則として小学校第1学年以上の学年に編入学した者
2-3.措置の内容	学力検査の延長、辞書持込、学力検査問題へのルビ打ち、キーワードの外国語併記、自己申告書の代筆または日本語以外の使用	学力検査の延長、辞書持込、学力検査問題へのルビ打ち、キーワードの外国語併記、自己申告書の代筆または日本語以外の使用	学力検査の延長、辞書持込、学力検査問題へのルビ打ち、キーワードの外国語併記、自己申告書の代筆または日本語以外の使用
2-4.2021年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)していますか? ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
3-1.2022年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	○	○	○
3-1の名称	日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜	日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜	海外から帰国した生徒の入学者選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限	原則として、中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で、小学校第4学年以上の学年に編入学した者	原則として、中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で、小学校第4学年以上の学年に編入学した者	原則として外国に2年以上在留し、帰国後2年以内の者
3-3.入学枠のある学校数/全学校数	8校/全校146校	8校/全校146校	13校/全校146校
3-4.学校名	東淀川、福井、門真なみはや、八尾北、成美、長吉、布施北、大阪わかば	東淀川、福井、門真なみはや、八尾北、成美、長吉、布施北、大阪わかば	住吉、千里、泉北、東、いちりつ、旭、枚方、花園、長野、佐野、箕面、和泉、水都国際

2021年度実施(2022年度入試)調査票

3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)	若干名	若干名	若干名
	②定員外(枠外)			
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択	○	○	○	
3-7.試験内容	数学、英語、作文	数学、英語、作文	数学、英語、面接	
3-8.2021年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)していますか? ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有	
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、 2021年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入	志願者数:105名 合格者数:94名	志願者数:105名 合格者数:94名	志願者数:43名 合格者数39名	

2021年度実施(2022年度入試)調査票

Ⅱ 定時制高校について

	D.外国人生徒	E.中国・サハリン帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2021年度中について、 当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	把握せず	把握せず	把握せず
2-1.2022年度の一般入試において、 当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の 場合は「2-1の備考」に明記	○	○	○
2-1の名称	令和4年度大阪府公立高等学校入学者 選抜における配慮事項	令和4年度大阪府公立高等学校入学者 選抜における配慮事項	令和4年度大阪府公立高等学校入学者 選抜における配慮事項
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限	原則として、中国等から帰国した者又は 外国籍を有する者で、小学校第1学年以 上の学年に編入学した者	原則として、中国等から帰国した者又は 外国籍を有する者で、小学校第1学年以 上の学年に編入学した者	原則として、中国等から帰国した者又は 外国籍を有する者で、小学校第1学年以 上の学年に編入学した者
2-3.措置の内容	学力検査の延長、辞書持込、学力検査問 題へのルビ打ち、キーワードの外国語併 記、自己申告書の代筆または日本語以 外の使用	学力検査の延長、辞書持込、学力検査問 題へのルビ打ち、キーワードの外国語併 記、自己申告書の代筆または日本語以 外の使用	学力検査の延長、辞書持込、学力検査問 題へのルビ打ち、キーワードの外国語併 記、自己申告書の代筆または日本語以 外の使用
2-4.2021年度の入試において、当該の措置で、日本語指 導が必要な生徒が受検(受験)しているか？ ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	把握せず
3-1.2022年度の入試において、当該項目の生徒を対象と した特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場 合は「3-1の備考」に明記	×	×	×

2021年度実施(2022年度入試)調査票

3-1の名称			
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学枠のある学校数／全学校数			
3-4.学校名			

2021年度実施(2022年度入試)調査票

3-5.定員 ※該当する方の み記入	①定員内(枠内)			
	②定員外(枠外)			
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択				
3-7.試験内容				
3-8.2021年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)していますか? ※有・無・把握せずから1つ選択				
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、 2021年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入				

Ⅲ 高校入学後の状況

1.日本語指導が必要な生徒に対して、 入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択	有	
	<input checked="" type="checkbox"/>	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(学校設定科目や個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	C.母語(継承語)保持のための授業の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	D.担当教員の加配
	<input checked="" type="checkbox"/>	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/>	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用

2021年度実施(2022年度入試)調査票

2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	<input checked="" type="checkbox"/>	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/>	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)
	その他の 施策	特別枠選抜実施校を含む日本語指導が必要な生徒が在籍する43校において、それぞれの状況に応じて、支援を実施している。生徒の母語と日本語ができる教育サポーターを教科支援、学校生活相談等に派遣。日本語力が十分でない保護者に対して、保護者懇談、説明会等に通訳を派遣
	上記に該当 する実施校 の校数等	特別枠選抜実施校を含む日本語指導が必要な生徒が在籍する43校において、それぞれの状況に応じて実施している。
	補足事項	
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば 記入	放課後等に多文化共生理解の取り組みをする等の部活動	
4.2021年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の 課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	有	
5.2020年度中に、直接来日後による編入学者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	有	

IV日本国内にある外国学校からの入学について

	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受検)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	△	個別の事情を勘案し、判断する。
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受検)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	④	志願者の個別の事情を勘案し、学校教育法施行規則第95条第5項に該当するかどうかを、応募資格の確認とあわせて出願に先立って行っている。
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受検)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	△	個別の事情を勘案し、判断する。
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受検)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	④	志願者の個別の事情を勘案し、学校教育法施行規則第95条第5項に該当するかどうかを、応募資格の確認とあわせて出願に先立って行っている。

2021年度実施(2022年度入試)調査票

3.上記の I II 特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在住期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入	含む	
4.外国学校の中等部の卒業生について、2021年度入試において受験(受験)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	有	受験希望者数を把握していない。

2021年度実施(2022年度入試)調査票

V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんだから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

<p>1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受験(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること</p>	<p>①大阪府の場合は、ダイレクト生徒の編入希望者が少なくない。その際、日本の学校を経験していない生徒・保護者向けのプレスクールの必要性を感じている。その際、入学後の就学支援金や健康調査書などの書類記入、高校生活・在留資格・進路についての説明をする。 ②近年、大阪府立高校に入学する日本語指導が必要な生徒の増加とともに、発達に課題を持つ生徒が増えてきた。しかし、大阪府内では、このような多言語・多文化を背景に持つ生徒の支援の方法が手探り状態で、相談できる専門機関がない。また、相談する際、通訳を必要とする場合があるが、公的に通訳を利用できる制度がない。</p>
<p>2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など</p>	<p>大阪府では、私立高校でも就学支援金の制度が適応されるようになり、特色のある科目設定を行っている私立高校の増加に伴って、日本語指導が必要な生徒も私立高校への入学希望者が増加している。当NPO おおさかこども多文化センターに、私立高校から日本語指導が必要な生徒の受け入れ対応、日本語指導についての相談が何回かあったが、私学で、どのような受け入れ対応、日本語指導がされているのかは、各高校で様々である。YMCA学院高等学校には、日本語支援が必要な外国にルーツを持つ生徒のため通信制コースがある。</p>
<p>3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください</p>	<p>NPO法人おおさかこども多文化センター http://okotac.org/ 阪府在日外国人教育研究協議会 http://fugaikyo.in.coocan.jp/ 阪府立学校在日外国人教育研究会</p> <p style="text-align: right;">大 大</p>
<p>4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。</p>	<p>公益財団法人とよなか国際交流協会 https://www.a-atoms.info/ 阪府国際交流財団(OFIX) https://www.ofix.or.jp/ 益財団法人大阪国際交流センター https://www.ih-osaka.or.jp/ 公益財団法人箕面国際交流協会 https://mafga.or.jp/</p> <p style="text-align: right;">大 公</p>

2021年度実施(2022年度入試)調査票

5.その他

※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致します。